

サービスニュース



バーナ噴霧テストについて

バーナノズルの先端部から噴射される燃料は、きちんとしたスプレー状になっていなければなりません。糸を引くような状態、ぽたぽたたれるような状態、又半分のみスプレー等このような状態では、正常な燃焼は出来ません。

今回はバーナ不調時におけるバーナ噴霧テストの方法について概略VWH型(1500SEC仕様)を対象に御説明したいと思います。

【噴霧テスト】

1. バーナをボイラより取り外します。

- ①.バーナには大きくわけてノズルパイプ仕様、防滴弁仕様とがあります。それぞれ共に燃料配管をフレキシブルホース又は、銅管で接続されております。これらの配管をバーナより取り外します。
- ②.フレームアイやガイシキャップ等の電気系統類の配線を外します。
- ③.次にバーナ本体をバーナ上蓋部のビスをゆるめて、ボイラより抜き取ります。

2. 噴霧させる場所の準備をします。

噴霧させる為に、燃料油を受ける缶等を準備して下さい。

3. 抜き取ったバーナに1-①で取り外しました燃料配管のみを接続します。

注意:ここでは決してガイシキャップ(点火トランス)は接続しないで下さい。火災や火傷の恐れがあります。

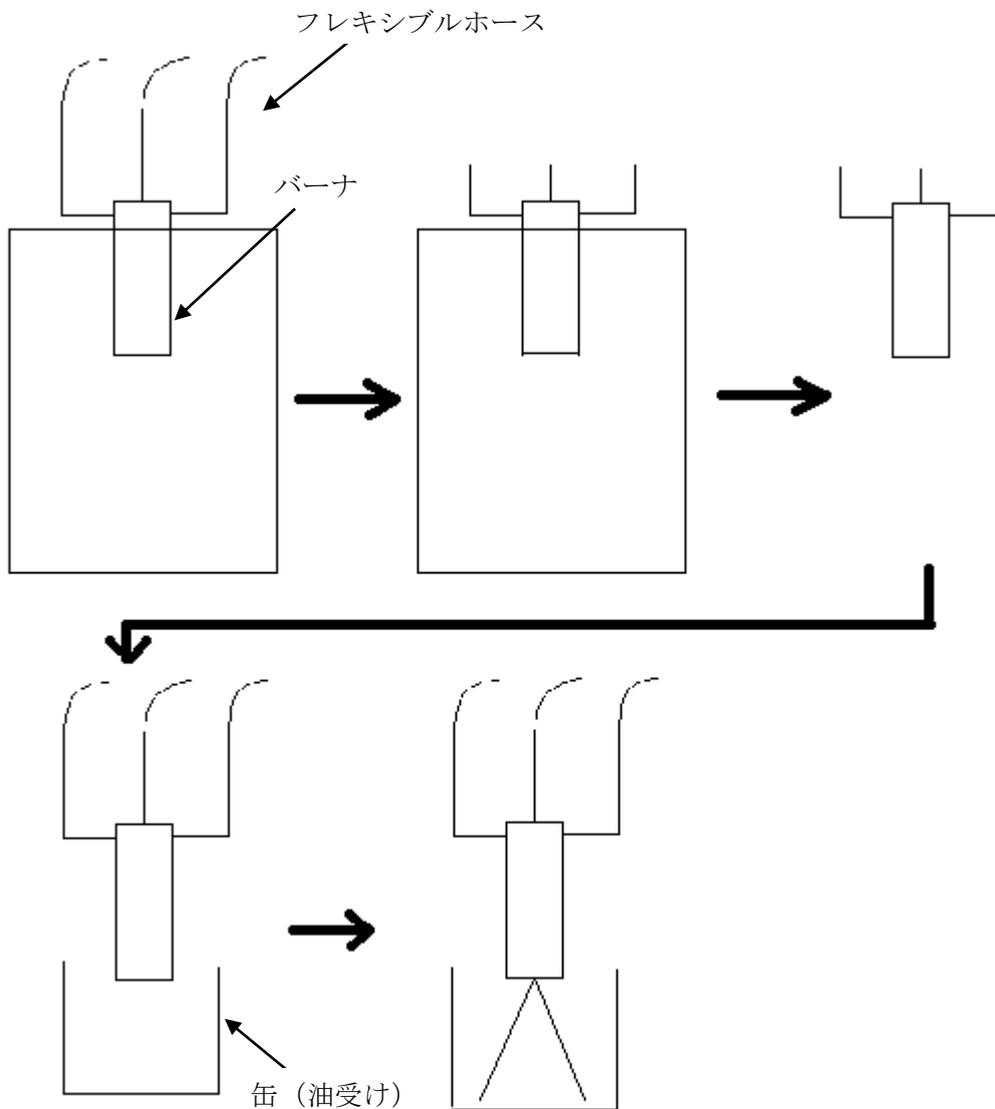
銅管仕様の場合は専用フレキシブルホース又は、テスト用銅管を準備される事をお勧め致します。

4. 手動操作で噴霧テストを行います。

- ①. FAN を運転
- ②. 燃料ポンプを運転
- ③. 点火トランス ON
- ④. 電磁弁 ON

5. きちんと噴霧されていれば復旧します。

そうでない場合は、ノズルチップの点検及び燃料油圧等の点検を行います。



<申し送り注意事項>

機種別に、手動回路が存在しない事もあります。

パイロット仕様の場合には操作が少し異なってきます。

シーケンス上の条件(炎検出等)の異なる場合がありますので、本船所有の完成図書回路図を御参照下さい。

電気回路を確認し方法等不明な点及び心配がある場合は決して行わないで下さい。事故発生の恐れがあります。

弊社サービスネットワークは下記 URL もしくは QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.miuraz.co.jp/product/marine/maintenance/service.html>



ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。